



減災について考える

地震の多い日本は、今後もさまざまな大地震が想定されています。なかでも注視されているのが、広範囲にわたる被害が予測される「南海トラフ地震」です。今後30年以内に発生する確率は70～80%で、新居浜市の被害予想は「最大震度7」「最大クラスのマグニチュード9」だそうです。

子育て拠点施設を利用されている皆さんのなかには、転勤などで愛媛県に引っ越して来られた方もたくさんいます。生まれ育ったところではなく、慣れない土地で、“もし今、大地震が起こってしまったら…”と考えると、不安な気持ちがふくらみますよね。子育てサークルでも、保護者の方々から不安な声が出たことをきっかけに、みんなで考えあい、学ぶことで、少しでもその不安がやわらぐといいなと思い、講師をお招きして、減災についてお話していただきました。

*減災とは…災害による被害を最小限に抑えるために、あらかじめ行う取り組みや対策です。自然災害の発生を防ぐことは難しいことから、災害は起きるという前提のもと、被害をいかに軽減させるかを目的としています。



《減災の取り組みで個人ができる7つの備え》

- ① 「自助」と「共助」を考える…自助とは自身の身を守ることで、共助は地域や身近にいる人同士で助け合うことを意味します。
- ② 住まいの地域の危険を確認する…ハザードマップ（防災マップ）で自分の住んでいる地域が災害時にはどのような被害にあう可能性があるか事前に確認しましょう。
- ③ 災害に強い自宅か確認する…自宅の耐震性に不安があれば、耐震診断を受けましょう。2000年以前に建てられているかどうか1つのポイントになります。
- ④ 正しい知識で災害から命を守る…地震により倒れると危険なものは壁や床に固定しておく、窓ガラスに飛散防止フィルムを張っておくなどの対策をしましょう。
- ⑤ 必需品や常備品を準備する…「外出時にもっておくもの」「自宅に用意しておくもの」の2つの視点で考えることが大切です。
- ⑥ 家族で安否確認の方法を共有する…あらかじめ災害時の連絡先や連絡方法、合流場所を家族内で共有しておきましょう。
- ⑦ 地域とのつながりをもつ…普段から近隣の人たちとのコミュニケーションをとりましょう。まずは、あいさつから意識してみましょう。

鬼は～そと！福は～うち！



福を呼び 豆まき



節分の豆まきは、季節の変わり目に起きやすい体調不良（邪気＝鬼）を払い、福を呼び込むために行います。そして、鬼をやっつけるために使われるのが、大きな豆＝「大豆」です。ちなみに大豆は、生でまくと芽が出て縁起が悪いとされているため、必ず煎った豆を使います。地域により殻つきの落花生で豆まきをするところもあります。鬼役になったり、豆を投げる役になったり、「鬼は外、福は内」と声を出しながら楽しんでください。

食べさせないで！！

節分の炒り豆、アーモンド等のナッツ類は、飲み込む準備ができていない時にのどに落ちたり、息を吸った時にふいにのどに移動したりして、のどに詰まることがあります。また、さらには、豆が気管や気管支の中で水分を吸ってふくらみ、窒息を引き起こす場合もあります。研究が進み、危険性が分かってきたため保育園でも節分の豆は出さないようにしています。大変危険なので、5歳以下の子どもには食べさせないようにしましょう！



2月の予定

曜日	月	火	水	木	金
日にち	3	4	5	6	7
AM		こあら組	うさぎ組	ぱんだ組	自主サークル
PM	フリーデー	フリーデー	フリーデー	フリーデー	フリーデー
	10	11	12	13	14
	地域サロン	建国記念の日	うさぎ組	ぱんだ組	自主サークル
	フリーデー		フリーデー	フリーデー	フリーデー
	17	18	19	20	21
		こあら組	うさぎ組	ぱんだ組	自主サークル
	フリーデー	フリーデー	フリーデー	フリーデー	フリーデー
	24	25	26	27	28
	振替休日	こあら組	うさぎ組	ぱんだ組	自主サークル
			フリーデー	フリーデー	フリーデー

Instagram
QRコードです
ぜひフォローしてね♪



EHIMEASAHIOIKUEN

☆フリーデー・電話相談 月～金曜日13:30～16:00

・初めての方も是非ご利用ください。フリーデーは、人数確認のため事前に電話で連絡をお願いいたします。

子育てについての不安や心配事は、一人で悩まず気軽に相談してくださいね。
朝日保育園地域子育て支援センター TEL (0897) 33-0188